

事務事業名 古紙集団回収奨励事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1104

施策：	23	循環型・低炭素社会の構築	財務コード	01040202-08-00
基本事業：	02	ごみの資源化の推進	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	ごみの資源化率 分別間違いの割合（収集ごみの混入率）		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成05年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			筑紫野市資源ごみ集団回収奨励金交付要綱に基づき、1kgにつき8円を奨励金として交付する。 奨励金の対象となる団体は、古紙等の集団回収を定期的実施する市内の町内会及び社会教育関係団体等で環境衛生推進員の推薦を受け、市長が認めたもの。 対象品目は新聞紙、ダンボール、その他の雑紙、布類である。 平成24年度から加算額1円を廃止した。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
ごみの減量化に努める。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
集団回収による古紙回収量		t	2,532	2,330	3,000	2,800			3,010
5. コスト									
事業費		計	千円	20,259	18,644	22,460	20,800		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他 一般	千円	20,259	18,644	22,460	20,800		
正職員人工数		人工	0.6	0.6	0.6	0.6			
正職員人件費		千円	4,798	4,853	4,839	4,791			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	25,057	23,497	27,299	25,591			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		新聞購読者の減が、回収量に大きく影響していると思われる。 回収量は減っているが、可燃ごみに転化したことはデータ上見受けられない。 大手ショッピングセンター、新聞販売所など回収選択肢の増が、本事業回収量に影響していると思われる。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	減少	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
平成5年度より筑紫野市資源ごみ集団回収奨励金交付要綱に基づき古紙等の集団回収を実施した市内の地域団体等に奨励金を交付している。			備考・特記事項 or 進行管理欄						